

高等学校蹴球部全国大会出場

高等学校蹴球部は、2010年12月27日より東大阪市の近鉄花園ラグビー場で開催された第90回全国高等学校ラグビーフットボール大会に、神奈川県第1地区代表として出場した。9年ぶり33回目の全国大会出場となる。

シード校となったため、初戦は2回戦。長崎県代表の長崎北陽台高校と対戦し、前半は12-0とリード、後半に一時は12-15と逆転されたものの、



終了間際ロスタイムに再逆転のトライを決め17-15で勝利した。3回戦は2011年

1月1日、東京都第2地区代表の國學院大學久我山高校と対戦し、0-21で完敗した。

チームの目標であった全国制覇には遠く及ばず、ベスト16をもって“花園”をあとにすることとなった。

しかし選手たちは、「慶應義塾＝日本ラグビーのルーツ校」としての誇りを胸に、正々堂々と戦った。特に、2回戦で見せた最後まで諦めない気持ち、最後まで勝利を目指す姿勢は、今期のチームを象徴するものであったと思う。

多くの方々からご声援をいただいたことに感謝するとともに、最後まで立派に戦った選手たちから敬意を表したい。

(高等学校教諭・蹴球部長 古田幹)

100周年を迎えた幼稚舎の理科教育

幼稚舎は、1911（明治44）年に三田校舎裏門あたりに小学校としては日本で最初の理科実験室を新設した。2階建ての立派な洋風建築で、当時東京での一種の名物になったそうである。これは福澤先生が森常樹舎長に、幼稚舎生へ理科の実験を教えることの重要性を説いた結果、実現したものである。そしてこの年から理科の専門家を招いて実験・観察を中心とした本格的な授業が始まった。よって、幼稚舎の理科はこの年に始まり、そして今年でちょうど100周年の記念の年となる。

この100年間の幼稚舎理科の不易の部分は実験・観察を中心とした直接経験重視の授業である。そ

して流行の部分は、常に新しい教材開発と学習指導法の工夫を目指していることである。最近

は学校の中に小さなサイエンスミュージアムを構築し、その教育利用について実践を重ね、社会に発信している。幼稚舎理科はこれからもこの不易流行を理念とし歩み続けたい。幼稚舎理科室ホームページ

(<http://science.yochisha.keio.ac.jp/Scienceroom/top.html>)

幼稚舎サイエンスミュージアムホームページ

(<http://science.yochisha.keio.ac.jp/ScienceMuseum/>)

(幼稚舎教諭 相場博明)

